



子どもたちの笑顔と元気を大切に

●中学校体育大会（夏季大会）

・今年も暑い夏がやってきました。3年間、部活動で頑張ってきた3年生にとって、今までの成果を発揮する一番の大会。どの会場も熱戦が繰り広げられていました。合同チームで大会に臨んでいたサッカーでは、連携した動きでボールを繋ぎ、相手ゴールに向かうチームプレーを見ることができました。また、応援する生徒も2校の校名を入れて大きな声で盛り上げていました。また、他郡市からの参加チームも含め、合同チームや外部指導者が増えてきたことを実感する大会となりました。ただし、大会の運営については、中学校の先生方の献身的な力に支えられている点は以前と変わっていません。これから地域移行を考えるにあたり、大会のあり方も大きな話題になってくると思われます。



●新たなスポーツの体験機会の創出（実証事業）



・児童生徒の多様なニーズに応え、多種目・多年代で気軽に楽しめる活動機会を確保しながら、新たな地域クラブ活動を構築することを目指しています。（フォルスピススポーツクラブ、アーバンスポーツ信州、SFIDA 塩尻スポーツクラブ）左の写真は、アーバンスポーツの剣玉（ケンダマ）、スラックライン、パルクールを体験している風景です。基本的なことを丁寧に教えてもらい、練習を重ねていきました。全員が上達していく過程が見ていて分かりました。これからが楽しみです。

●令和9年度以降の全国中学校体育大会

・6月8日、日本中学校体育連盟が令和9年度より9競技の全国大会を取りやめると発表しましたが、反響が大きく混乱を招いています。中学校における部活動の設置割合で判断していいのか？代替措置を含めた発表はできなかったのか？関係者の気持ちを察すると複雑なものがあります。一方、大会を残すことになった11競技の扱いも気になるところです。大会のあり方はどうなるのか？部活動を残すのか？今後の動向から目が離せません。

【コーディネーターのつぶやき ④】

・4月から5月にかけて各中学校で開催されたスポーツ・文化活動運営委員会にお伺いし、休日の地域移行に向けた話をさせていただきました。席上、様々な質問・意見をいただきましたが、具体的かつ明快な返答ができないもどかしさを感じました。これまでのアンケートや調査を通し、課題はかなり明確になっていますが、それをクリアするための資金や受け皿が不透明であることが歯がゆさに繋がっています。秋口までに種目別検討会を開催し今後の方向性について話し合うこととなりますが、その種目に直接関わっている方々ですので、より具体的な道筋が見えてくることを期待しています。

最新の情報は、市公式ホームページで公開しております。

部活動地域移行

検索



担当：塩尻市教育委員会事務局 学校教育課児童生徒支援係
係長：小松 義宏 部活動総括コーディネーター：中沢 寛
電話：0263-52-0830
e-mail：gakkou@city.shiojiri.lg.jp